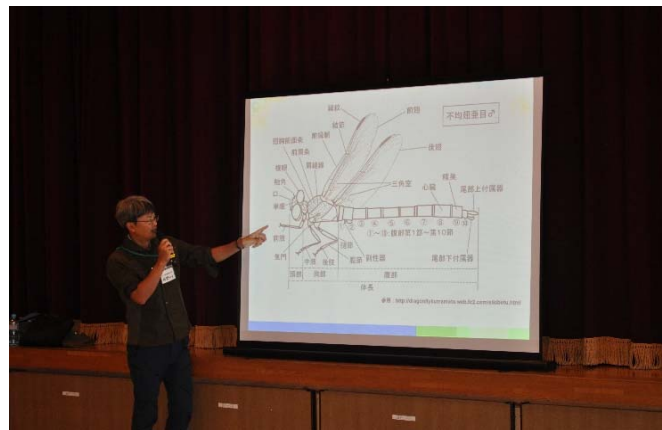




令和6年8月24日（土）、十和田市一本木沢ビオトープにて親自然体験2024の第2回目となる「トンボ博士になろう」が一本木沢ビオトープ協議会の主催で開催されました。昨年は雨天により残念ながら屋内での学習会のみでしたが、今年は気持ちのいい晴天により、野外での観察会も併せて開催されました。

学習会では北里大学獣医学部の柿野准教授にトンボの体の構造、種類ごとの見分け方を学びました。特に体の構造については、トンボの心臓は尾のような長い腹部の先の方にあり、ここを掴んではいけないといった採取の際に注意すべきことも聞くことができました。



【学習会の様子】

学習会の後はビオトープに移動し、ボランティアとして参加した北里大学の学生が1家族につき1人同行し、トンボの捕まえ方や見分け方を改めてレクチャーしながら採取を行いました。ビオトープの周辺だけでも様々な環境があり、木々が生い茂った場所、開けた場所、水辺の近くでそれぞれ見られるトンボの種類が異なります。参加者は夢中で捕虫網を振るいながら時間いっぱいまで採取を楽しんでいました。



【集合写真】



【トンボ採取の様子】



今回ビオトープで見られたトンボたち



【ナツアカネ (オス)】



【ナツアカネ (メス)】



【ノシメトンボ】



【ウスバキトンボ】



【ギンヤンマ (オス)】



【オニヤンマ (オス)】



【ハグロトンボ (オス)】

採取したトンボは1匹だけ東コミュニティセンターに持ち帰り、ビニール袋に入れてスケッチをしました。参加した子供たちはトンボの様子をじっくり観察し、特徴が分かるように配られた画用紙に色鉛筆をはしらせていました。

トンボ観察会はこれまで9月から10月に実施してきましたが、今回は早めの8月下旬に行ったところ、去年までは見られなかった種類のトンボが多く採取できました。特にギンヤンマ等の大型のトンボがたくさん見られ、子供たちもいい経験になったかと思います。



【観察会の様子】



【観察会後の集合写真】

次回の一本木沢ビオトープ親自然体験は8月31日（土）に「水の中をのぞいてみたら」開催します。ビオトープに地引網を設置し、どんな生き物が生息しているかを採取、観察する予定です。

<https://www.city.towada.lg.jp/shisei/koho/kohotowada/files/202407all.pdf>

関連事業：県営一本木沢地区農村振興総合整備事業（H9～16）